

第12回揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会 議事要旨

1. 日時 平成 21 年 3 月 24 日(火) 15:00～17:00
2. 場所 笹川記念会館 4F 飛龍
3. 議題
 - (1) VOC 排出インベントリにおける「溶剤アンケート」の活用方法について
 - (2) その他の不確実性等に係る課題の追加的な検討結果について
 - (3) 都道府県別排出量の推計方法とその取りまとめ方法について
 - (4) 今後の VOC 排出インベントリに係る基本方針について
 - (5) その他
4. 出席者
委員: 浦野委員長、泉委員、指宿委員、桐明委員、久米委員、柴田委員、高戸委員、南齋委員、野中委員、山口委員
オブザーバー: 山本氏(日本クリーニング環境保全センター)
環境省: 早水大気環境課長、米田大気環境課長補佐
事務局: 社団法人 環境情報科学センター
5. 議事内容
 - 事務局より、「VOC 排出インベントリにおける「溶剤アンケート」の活用方法(案)」について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。
 - ・ リサイクル量は非常に少ないため、使用量は、元売・石化の出荷量とリサイクルの出荷量を足したものと近似したと明記することとする。
 - ・ アンケート結果を操作する際には、仮説や前提を明記すべきである。
 - ・ 不明分については、課題が明らかになったということに留め、推計方法は例年どおりの方法で実施することとする。
 - 事務局より、「その他の不確実性等に係る課題の追加的な検討結果(案)」について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。
 - ・ (特に意見なし)
 - 事務局より、「都道府県別排出量の推計方法とその取りまとめ方法(案)」について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。
 - ・ PRTR 届出データを活用して全国排出量を都道府県別へ配分する場合、PRTR 届出データと VOC 排出インベントリの業種別の排出量比率は 50%～150%とすることとする。

- 事務局より、「今後の VOC 排出インベントリに係る基本方針(案)」について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。
- ・ 来年度の課題として、不明分に係る推計とその際の溶剤アンケート結果の扱いについて盛り込むべきである。
- ・ モニタリングデータには、測定地点数の問題や、他地域からの移流、気象条件等のさまざまな影響因子があるため、排出量のデータと単純に比較できないと考えられる。
- ・ VOC 排出インベントリの経年変化の検証には PRTR 届出データを活用したほうが良い。

<配付資料>

第 12 回 揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会 座席表

資料1 第 11 回 揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会 議事要旨(案)

資料2 VOC 排出インベントリにおける「溶剤アンケート」の活用方法(案)

資料3 その他の不確実性等に係る課題の追加的な検討結果(案)

資料4 都道府県別排出量の推計方法とその取りまとめ方法(案)

資料5 今後の VOC 排出インベントリに係る基本方針(案)

参考資料1 大気汚染防止法に基づく届出データ等の収集結果(暫定集計結果)

参考資料2 「溶剤アンケート」のデータ集計・解析方法の詳細

以上